



2025(令和7年)度 開校51年目 変えられることに目を向けて!

サンホセ日本人学校 校長 半山章人

澄み渡るモラビアの青空のもと、先人の皆様のご尽力により設立された伝統ある校舎や広大な運動場をもつこのサンホセ日本人学校において、2025年度の学校生活がスタートしました。全校児童生徒は9名(小学部8名、中学部1名)で少人数ですが、アットホームな雰囲気の中、一人ひとりがたくましく成長されることを期待しております。職員は文部科学省派遣教員4名が新しく着任しました。昨年同様、グアルダさんやドライバーさん、庭師さん、清掃婦さん、修繕担当の方など、学校スタッフのみなさんとともに児童生徒の学びを支援していきます。

さて、サンホセ日本人学校で学ぶことは、日本と同等の学びに加えて、スペイン語の学習、校外学習、コスタリカの現地の子供たちとの交流などを通して、コスタリカという国を理解することです。また、オンライン等で他の国の日本人学校との交流も可能です。そのような学習や経験を通して、視野を広げるとともに、日本のよさを実感する貴重な時間になるはずで。昨今、本校では児童生徒数の減少に伴う課題や不安もありますが、合同運動会のように、日本人会やJICA等の多数の皆様のご参加により、盛大に開催することができています。このようにサンホセ日本人学校は、熱い想いの日本人社会に支えられています。



〔Roble de Sabana
(日本語でもモイロノウゼン)〕

課題はたくさんありますが、変えられないことを嘆くより、変えられることに目を向けて、それをプラスにとらえていきたいものです。(昨年度の数学「関数」の授業で、変わらないものは「定数」、変わるものを「変数」と学習した際に、変わるものに着目したことが思い出されます。)



本年度も、子どもたちが笑顔で登校できる愛と夢を育む学校づくりに努めますので、ご理解、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。なお、いつでもご自由に授業や学校行事をご参観ください。子供たちにとりましても、見ていただけることが励みとなります。

【学校教育目標】

【大使公邸前のコスタリカ桜】

知・徳・体の調和のとれた教育を目指すとともに、世界に羽ばたく国際性豊かな人材の育成

【スローガン】

(学習)「ま・な・す・が」

「㊟なぼう自分から ㊟かまと協力 ㊟てきなやり方で ㊟んばろう最後まで」

(生活)「たのしく なかよく せいっぱいの学校」

4月15日(火)	着任式 一学期始業式	
17日(木)	復活祭(休業日)	
18日(金)	復活祭(休業日)	
20日(日)	PTA 環境整備	
21日(月)	集金 委員会	
22日(火)	避難訓練(バス) 5時間授業(職員会議:下校14時)	
23日(水)	身体測定	
25日(金)	任命式	
26日(土)	授業参観 合同避難訓練 懇談会 PTA 総会	
28日(月)	振替休業日	

29日(火)	5時間授業(職員会議:下校14時)	
5月 1日(水)	メーデー(祝日)	
2日(木)	集金・クラブ計画	
5日(月)	こいのぼり集会	
6日(火)	5時間授業(職員研修:下校14時)	
9日(金)	クラブ	
10日(土)	日本人会球技大会	
12日(月)	委員会 教育相談週間	
13日(火)	中学部 中間テスト範囲発表	
23日(金)	児童生徒総会	
27日(火)	中学部中間テスト(1日目)	
28日(水)	中学部中間テスト(2日目)	

